

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		ムジークフェストなら2017 万葉オペラ・ラボスタジオによる27通の音手紙		担当課 施設名	(なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(5) -①②
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <u>継続</u>	事業開始年	平成25年	実施回数	1
日時	平成29年6月11日(日) 14:00開演		会場	なら100年会館 中ホール	
目的	芸術文化の裾野を広げるあらゆるジャンルの多彩な事業の展開によって、新たな観客層(ファン)の獲得につなげます。また、人材養成事業として若手実演家、地元出身の実演家による各種コンサートを、自ら企画立案し、公演を実施することで、芸術文化の普及開発を担う人材の育成、支援します。				
内容	万葉オペラ・ラボ事業を展開するなかで、オペラのソリストを目指し研鑽する「万葉オペラ・ラボスタジオ」研究生が自ら企画するコンサート。また、クラシック音楽により親しみを持っていただくためのコンサートです。今回は、お客様に審査いただく企画を取入れ、「万葉オペラ・ラボスタジオ」の研究生27人が「音手紙」と題して、歌を披露します。コンサートは平成25年からの継続事業です。今回も、ムジークフェストなら2017の一環として開催します。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	48,000	48,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成	参加者数・参加率の達成度		目標値: 200		実績値:
	参加者満足度				
果	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第1回ウーヴェルチュールコンサート		担当課 施設名	(なら100年会館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(5) -①②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ <u>継続</u>		事業開始年	平成26年	実施回数	1
日時	平成29年6月24日(土)			会場	なら100年会館 中ホール	
目的	芸術文化の裾野を広げるあらゆるジャンルの多彩な事業の展開によって、新たな観客層(ファン)の獲得につなげる等、未来に向けた会館運営を目指します。また、人材養成事業として若手実演家、地元出身の実演家による各種コンサート、公演を実施し、芸術文化の普及開発を担う人材の育成、支援します。					
内容	奈良出身など奈良に関わりのある方に、演奏していただく機会を提供します。将来、プロの演奏家を目指す方々を支援するための公演です。今回第1回目はコンサート形式で演奏を披露していただき、コンサートの中で審査を実施します。最優秀者には大ホールで開催する「クリスマスコンサート」のソリストとして出演いただきます。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	344,000	344,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値:	300	実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		万葉オペラ・ラボ講座「まちなか万葉劇場」		担当課 施設名	(なら100年会館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -②③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ <u>継続</u>		事業開始年	平成27年	実施回数	1
日時	平成29年7月15日(土) 13:00開演		会場	餅飯殿センター街、東向商店街、近鉄奈良行基前広場		
目的	奈良の魅力を発信する“なら100年会館”を目指して開催する「万葉オペラ・ラボ公演 ガラコンサート」のプレイベントとして、商店街等でのPR活動と、商店街等地域の活性化の一環として実施します。平成29年度奈良県国民文化祭の開催に伴い、文化交流事業として「万葉オペラ・ラボ公演 ガラコンサート」とともに、「まちなか万葉劇場」を開催します。					
内容	奈良市の東向き商店街、もちいどのセンター街の広場等を舞台に、奈良大学の上野誠教授のゼミ生が万葉集のお話を、また、そのお話にちなんだ「歌」を万葉オペラ・ラボスタジオ研究生が万葉衣装で披露するなど、奈良の魅力あふれる「ミニ万葉オペラ劇場」を開催します。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	778,000	その他収入(事業収入等)		778,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 2000	実績値:		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		なら100燈花会広場		担当課 施設名	(なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -②③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <u>継続</u>	事業開始年	平成26年	実施回数	4
日時	平成29年8月5日(土)～7日(月)		会場	なら100年会館 時の広場	
目的	芸術文化の裾野を広げるあらゆるジャンルの多彩な事業の展開によって、新たな観客層(ファン)の獲得につなげます。また、地元自治会の皆さんとも連携し、なら100年会館の「時の広場」を活用した催しを行うことで、地域振興、地域交流の創出を目指し、また、JR奈良駅西側の賑わいづくりに貢献します。				
内容	夏の風物詩で奈良に定着した「なら燈花会」の開催に合わせ、「時の広場」で多数のロウソクに灯りをともし、自治会をはじめ周辺地域住民のほか、多くの観光客にもお越しいただき夕涼みを過ごしていただきます。また、会館が実施する主催事業「夏休みこども映画祭」と連携させることにより効果的な集客を目指します。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	88,000	88,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 3000	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第7回万葉オペラ・ラボ公演「遣唐使物語」		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) - ①②③④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ <u>継続</u>		事業開始年	平成22年	実施回数	1
日時	平成29年9月30日(土) 14:00開演		会場	なら100年会館 大ホール		
目的	奈良の魅力を発信する“なら100年会館”を目指して開催する事業。オペラ歌手を目指す若手演奏家の育成と万葉集をはじめとする奈良の芸術・歴史、文化の情報発信を行うために開催します。産・官・学との連携協力を行い、全国、世界へ向けて、奈良の創造文化の輝きときらめく魅力を発信します。奈良県国民文化祭の開催に伴い、市民参加の文化交流事業として、「万葉オペラ・ラボ公演 ガラコンサート」を開催することで、奈良の歴史の素晴らしさを発信します。					
内容	平成29年度奈良県国民文化祭の開催に伴い、文化交流として実施するとともに、奈良の歴史の素晴らしさを全国に発信します。平成28年度開催した万葉オペラ・ラボ公演「遣唐使物語」を題材にして、「万葉オペラ・ラボスタジオ」、市民公募の合唱団「万葉オペラ・ラボフレンズ」、会館のコーラス教室で研鑽を積む「万葉オペラ・ラボキッズ」や市民コーラスグループらが多数出演するガラコンサートです。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	5,437,000	その他収入 (事業収入等)	5,350,000	10,787,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成	参加者数・参加率の達成度		目標値: 850		実績値:	
	参加者満足度					
果	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		なら楽人の会が発信する音楽の楽しみvol.7 ロマンスのきたみち		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(5) -①②
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成22年	実施回数	1回
日時	平成29年11月5日(日) 15:00開演		会場	なら100年会館 中ホール	
目的	芸術文化の裾野を広げるあらゆるジャンルの多彩な事業の展開によって、新たな観客層(ファン)の獲得につなげる等、未来に向けた会館運営を目指します。また、人材養成事業として地元出身の実演家によるコンサート、公演を実施し、芸術文化の普及開発を担う人材の育成、支援します。				
内容	奈良出身の演奏家グループとして活躍されている「なら楽人の会」によるクラシックコンサートです。人材養成事業として地元出身の実演家による演奏会を開催します。今回で7回目の継続事業。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	1,094,000	1,094,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 400	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		なら100クリスマスコンサート		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <u>継続</u>	事業開始年	平成25年	実施回数	1回
日時	平成29年12月9日(土) 15:00開演		会場	なら100年会館 大ホール	
目的	文化振興事業、アウトリーチ事業の実施など、市民の参加・交流を促す文化活動には、コミュニティを再生し地域に活力をもたらすとともに、人々が健康で生きがいを持って暮らすことのできる地域社会の実現等の効果が期待されます。文化で地域を結ぶという「文化芸術の活用」を実践します。				
内容	大阪市音楽団によるクリスマスコンサートです。中学校または高等学校の吹奏楽部を対象とした、クリニックを含めたアウトリーチを並行して実施致します。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	2,064,000	その他収入 (事業収入等)	3,150,000	5,214,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 1000	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		～親子で楽しむ～ よちよちコンサート		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ②
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成28年	実施回数	2
日時	平成29年12月23日(土) ①11:00②14:00開演		会場	なら100年会館 中ホール	
目的	未来を担う子ども達を対象とした芸術文化公演の実施等、芸術文化の裾野を広げるあらゆるジャンルの多彩な事業の展開によって、新たな観客層(ファン)の獲得につなげる等、未来に向けた会館運営を目指します。				
内容	0歳から入場でき、親子で楽しめるコンサートです。世界の童話や日本の昔話等の親しみある絵本に曲をつけた作品の読み聞かせなどともに、子ども達が興味を持ちそうな曲を中心とした楽しい演奏会の2部構成からなる公演です。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	355,000	355,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 300	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		～音楽の絆で地域を結び～ バリアフリーコンサート		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -②③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成29年	実施回数	1
日時	未定		会場	なら100年会館 小ホール	
目的	公立文化施設として文化芸術に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して、社会参加の機会を提供するという、社会的包摂の視点を持った事業を実施するなかで、社会的課題の緩和や解決に継続的に取り組みます。「音楽の絆」をテーマとした事業やアウトリーチ事業を継続的に展開します。全ての人が社会とつながり社会参加ができるという社会的包摂の考え方を基に、地域を結びという「文化芸術の活用」を事業で実践します。				
内容	お身体に障がいを持たれていたり、通常の公演（コンサート等）では、来場することが困難と感じておられる方々にお越しいただけるバリアフリーコンサートです。障がい者と健常者がともに集い、歌や演奏を楽しむ交流事業を開催します。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	242,000	その他収入（事業収入等）	180,000	422,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入（事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値： 100	実績値：	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		～音楽の絆で地域を結び～ アウトリーチ事業		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -②③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成22年	実施回数	3
日時	平成29年秋頃		会場	未定 (養護学校・福祉施設等)	
目的	公立文化施設として文化芸術に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して、社会参加の機会を提供するという、社会的包摂の視点を持った事業を実施するなかで、社会的課題の緩和や解決に継続的に取り組みます。「音楽の絆」をテーマとした事業やアウトリーチ事業を継続的に展開します。全ての人が社会とつながり社会参加ができるという社会的包摂の考え方を基に、地域を結びという「文化芸術の活用」を事業で実践します。				
内容	①様々なコンサートと連動させ、それぞれのコンサートに出かけたいような内容の館外での出前コンサートを開催します。 ②養護学校や療育病院など、会館へ来ることが困難な方がおられる場所での出前コンサートや、オペラ・ラボメンパー等によるアウトリーチ事業を実施します。				
事業費 (円)					
歳入					
予算	市費 (指定管理料等)	222,000	その他収入 (事業収入等)	50,000	歳出 272,000
決算	市費 (指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数 :	回収数 :	回収率 :	
指標		評価 (5点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値 : 未定	実績値 :	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価 (自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		奈良の魅力再発見 能楽普及事業		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成17年	実施回数	年間60回
日時	月曜日の16:00~18:45		会場	なら100年会館 中・小ホール他	
目的	なら100年会館は奈良が発祥の地である能楽の普及・発展を目指し、能楽の素晴らしさを理解し後世に伝えることを目的として、能楽普及事業を開催しています。また、成人を対象とした能楽体験のみでなく、小・中学生を対象とした能の体験教室を平成17年から開講し、こどものみで演じることができる『なら100年会館オリジナル 善財童子』を制作し、毎年1回公演を行うなど研鑽を重ねています。				
内容	毎週1回シテ方金春流の金春康之師(重要無形文化財総合保持者)を講師に迎え、シテ方金春流の仕舞や謡の稽古を行います。夏休みには奈良市内の社寺で稽古及び奉納を行います。「こども伝統文化協会」の催しなどに参加します。また、伝統文化の普及啓発の一環として、18歳以上を対象とした「お能体験」を開催します。				
事業費(円)					
歳入					
予算	市費(指定管理料等)	609,000	その他収入 (事業収入等)	1,239,000	歳出 1,848,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 未定	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		なら100チャリティコンサート		担当課 施設名	(文化振興課 なら100年会館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(9) - ③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成23年	実施回数	1回
日時	平成30年2月			会場	なら100年会館 中ホール	
目的	東日本大震災の復興支援を目的に、平成24年3月に始まったチャリティコンサートです。災害により被災した地域の被災者の方々に、当財団、市民、民間団体、企業、学校、自治体等が、分野の垣根を越えて連携協力し、文化芸術を通じて被災地復興推進活動を展開することにより、人々が生きる希望や勇気を確認し、日本全体が着実に復興していくことを目指して開催します。					
内容	平成28年4月に発生した「熊本地震」の復興を支援するチャリティコンサートです。熊本復興へ向けて心のケアが必要とされており、その最も大きな力に音楽芸術です。今回、「くまもと音楽復興支援100人委員会」と連携し、会館でのコンサート・音楽活動を通じた支援を実施します。					
事業費(円)						
歳入						
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	650,000	歳出	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値:	未定	実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第36回 市展「なら」		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	1
日時	平成30年2月20日～3月8日		会場	奈良県文化会館 展示室	
目的	市民の美術に関する見識を広め、美術作品の創作意欲を高める場を提供することにより、本市の文化振興を図る。				
内容	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門の作品を一般公募し、鑑審査を経て入選・入賞した作品を展示する。会期中に審査員による作品解説がある。表彰式を行い、入賞者に賞状を授与する。入場無料。				
事業費(円)					
		歳入			歳出
予算	市費(指定管理料等)	384,000	その他収入 (事業収入等)	1,200,000	1,584,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 2400人	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第36回 奈良市美術家展		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	1
日時	平成29年10月12日～17日		会場	奈良県文化会館 展示室	
目的	多くの市民に郷土の美術家である奈良市美術家協会会員の優れた美術作品を鑑賞していただける場を提供する事で、美術及び創作活動に関する知識と意欲の高揚を図る機会とし、市民の美術文化に対する振興と発展を目指す。				
内容	奈良市美術家協会会員が一人1作品を出展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、建築の7部門で約70点の作品を展示。会期中には各部門の代表者による作品解説もおこなう。入場無料。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	870,000	その他収入 (事業収入等)		870,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 1500人	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第35回 市民実技講座作品展		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和58年	実施回数	1
日時	平成29年12月5日～10日		会場	奈良県文化会館 展示室	
目的	市民の芸術活動の発表の場を提供する。				
内容	市民実技講座・親と子のやさしいアート体験で制作した作品を、奈良市美術家協会会員の指導の下に自ら展示し多くの方々に鑑賞してもらう。				
事業費(円)					
歳入					
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	0	歳出
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 600人	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		平成29年度 市民実技講座・親と子のやさしいアート体験		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	8
日時	平成29年7月～10月		会場	奈良市中部公民館ほか	
目的	市民の美術作品に対する創作活動に関する知識と意欲を高める場を提供する。				
内容	奈良市美術家協会会員の協力により、洋画、書、写真等の専門家の指導を受け創作活動を行う。				
事業費(円)					
		歳入			歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	0	0
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 225人	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		奈良の散歩道（講座・年2回）		担当課 施設名	（ 奈良市美術館 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	2	
日時	未定		会場	未定		
目的	古代の歴史や文化人が訪れた場所を散策し、市民が奈良の奥深い魅力を再発見する場を提供する。					
内容	毎回テーマに沿い当館学芸員の解説を聞きながら、現地を散策する。					
事業費（円）						
		歳入			歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	25,000	25,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値： 50名		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		奈良女子大学連携協力事業 奈良市美術館の仏教美術講座		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(10) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年	実施回数	1
日時	未定		会場	未定	
目的	大学と連携協力し、相互の人的・知的資源の交流を図り、その成果が市民に還元されることを目的としている。				
内容	奈良女子大学との連携事業。同大学教授を講師に迎え、仏教美術をテーマに講話と現地を散策をおこなう。				
事業費(円)					
		歳入			歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	25,000	25,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 25人	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		市制120周年プレイベント 「写真で見る古都奈良の120年」		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (2) -④、(5) -③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和29年	実施回数	1
日時	平成29年7月11日～8月13日		会場	奈良市美術館	
目的	平成30年(2018年)、奈良市が誕生して120周年になります。そこで、120周年プレイベントとして、奈良市のあゆみを写真で紹介し、奈良に対する理解とその魅力を深めるとともに、奈良への愛情を育む機会とするものである。				
内容	約120年にわたる奈良のあゆみを写真で紹介する。各時代の出来事やイベント、戦時下の奈良、学校行事、交通網の変遷と整備、自然災害、市民の暮らしなど、写真と歴史資料を集めて展示構成する。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	670,000	その他収入(事業収入等)	360,000	1,030,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 2400名	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		奈良を観る～奈良公園の観光と美術を巡る～		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成26年	実施回数	1
日時	平成29年10月13日～10月15日		会場	奈良県文化会館 展示室	
目的	奈良の隠れた魅力を市民や全国に発信するとともに奈良市の文化振興に寄与することを目的とする。				
内容	奈良の近代における美術や文化を発掘（調査）し、「奈良を観る」と題して紹介するシリーズの第4回目。奈良公園を観光と美術の視点から検証し、奈良公園ができた時代的背景や観光文化の変遷、鹿と人との関わり、近代の作家や芸術家達がなぜ奈良へ憧れ訪れたか等、奈良の魅力を紹介する。				
事業費（円）					
		歳入			歳出
予算	市費（指定管理料等）	2,383,000	その他収入 （事業収入等）	156,000	2,539,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計		配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値： 1000名	実績値：	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		（参加者）			
		（協働者）			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第14回新春造形まつり 奈良市児童生徒作品展		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (2) -②
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和16年	実施回数	1
日時	平成30年1月4日～8日(予定)		会場	未定	
目的	奈良市立の小・中等学校、市内養護学校と連携協力し、児童生徒による図工美術の成果を紹介。鑑賞を通じて創作意欲を高め、豊かな表現力を育てることを目的に開催する。				
内容	奈良市立の小・中・高等学校、市内養護学校の児童生徒による平面作品、立体作品を紹介する。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	87,000	その他収入 (事業収入等)		87,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 1000名	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		夏休み恐竜教室 「ティラノサウルス、 トリケラトプスを作ろう！」		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(6)-①、(8)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成26年度	実施回数	4
日時	平成29年8月6日(日) ①午前9時半～午後0時半 ②午後1時半～4時半		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(会議室2,3)	
目的	子どもたちにとって、恐竜模型造形家 荒木一成さんの指導を直接受け恐竜模型を作ることは、専門家の技術、知識、取組まれる姿勢等に接する貴重な機会となる。				
内容	①ティラノサウルス：午前9時半～午後0時半 ②トリケラトプス：午後1時半～4時半 講師…恐竜模型造形家 荒木一成さん <要申込み>				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	120,000	120,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：40	実績値：	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		夏休み・冬休みおやこ体操教室 「①げんき・②わくわくクラス」		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(8)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成26年度	実施回数	4
日時	平成29年7月29日(土)、30日(日)、 平成30年1月7日(土)、8日(日) 各日①午前9時15分 ～10時15分 ②午前10時半～11時半		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(ホール)	
目的	健やかに夏冬休みが過ごせるよう、子どもも大人もリズム体操やストレッチなどで楽しく体を動かし、体力・柔軟性を向上させて生活リズムをつける。				
内容	講師…山本三歌代さん 定員…①げんきクラス：3歳児～小学生3年生とその保護者(3歳は園児のみ)25組 ②わくわくクラス：2,3歳児とその保護者(園児含む) 25組 (①②各全2日間受講できる大人と子ども。1組=おとな1人と子ども1人)＜要申込み＞ ①②各2,000円				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	160,000	160,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：100	実績値：	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		キッズスペシャルコンサート Vol.9		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-①②、(6)-①、(8)- ①、(9)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成21年度	実施回数	9
日時	平成29年9月23日(祝土) 午前11時～11時45分		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(ホール)	
目的	管弦楽の音色に親しむことができる子ども向けコンサートを開催し、子どもたちの情操や集中力を育みます。				
内容	出演…かりんからん(フルート:東美和さん、ヴァイオリン:西村綾香さん、ヴィオラ:野村初葉さん、チェロ:北山悠祐さん、ピアノ:東山洗雅さん) 好評により毎年一回開催。「いっしょに歌おう!演奏しよう!」や楽器紹介、手遊びコーナー、音楽昔ばなしなど、盛りだくさんのプログラムをご家族いっしょに気がねなくお楽しみいただけます。※おむつ替え、授乳コーナーあり 入場料… 800円(2歳児以上有料、0歳児から入場可)※全席自由				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	236,000	236,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 200	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		桂文我のおやこ寄席・独演会		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-①②、(4)-①③、(8)- ①、(9)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成26年度	実施回数	4
日時	平成30年1月予定		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(ホール)	
目的	平成26年度から地域の文化芸術振興に繋がる事業として開催。27年度からは、公演回数を増やし、2回公演で大人から子どもまで地域の幅広い世代に落語に親しむ機会を提供しています。				
内容	午前中は子どもも楽しめる落語会。出演者によるわかりやすい解説やお囃子の演奏付きで子どもも楽しく自然に落語の世界に親しむことのできる内容です。午後は一般向け落語会です。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	703,000	703,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 200		実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		優秀映画鑑賞推進事業 懐かしの映画 ワンコイン上映会vol.12		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-①、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成18年度	実施回数	12
日時	平成29年12月3日(日)		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(ホール)	
目的	当上映会は、市民が安価な入場料で優れた映画を鑑賞する機会を提供します。				
内容	優秀映画鑑賞推進事業は、東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の映画フィルムを、低経費で上映することのできる文化庁の事業です。①カルメン故郷に帰る②二十四の瞳③野菊の如き君なりき④喜びも悲しみも幾歳月のうち、3本を上映予定です。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	200,000	200,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値: 400	実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)			#DIV/O!		
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		ニュータウンフェスタたかのはら2018		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成21年度	実施回数	9
日時	平成30年3月10日(土) 午前10時～午後5時		会場	奈良市北部会館市民文化ホール	
目的	高の原近隣で文化活動をされている個人や団体に舞台発表・出店・展示を行っていただき、当ホールを拠点として住民同士の活発な交流が生み出される事を目指します。				
内容	当ホール全室にて、世代を超えてみんなで楽しめるパフォーマンス、手作り品販売、遊びや制作の体験コーナー、活動紹介展示、カフェ他を開催。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	186,000	186,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 2,400		実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		平成29年度 高の原文化講座		担当課 施設名	(北部会館市民文化ホール)
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(9)-③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成17年度	実施回数	13
日時	平成29年4月4日(火)午前9時～ 平成30年3月29日(木)午後8時30分		会場	奈良市北部会館市民文化ホール	
目的	当館の周辺の皆様を対象に実施しています。市民の体調管理や健康増進の一助となり、それぞれのペースで健やかな生活を送っていただくための日常的ツールとなることを主眼としています。 あわせて、当講座が市民と地域をつなぐ場となり、市民同士の交流、他の文化事業への参加など、様々な波及効果を生み出すことを目指します。				
内容	地域の文化芸術振興(①親子ピクス②キッズピクス③ジュニアキッズピクス④高の原コーラス),地域のにぎわいづくり(①手芸・ストレッチ編②押し花③日本刺繍④整体リズムヨガ⑤リズム元気体操⑥気功体操⑦ピラティス),地域活性運営(①ウェーブ・ストレッチ・リング&ヨガ②フラダンスA③フラダンスB④フラダンスC⑤フラダンスD⑥高の原水彩画⑦ウォーキングエアロピクス⑧テューク式ウォーキング⑨ハワイアンフラ⑩ヨガ⑪英会話A⑫英会話B ⑬英会話C⑭デトックスヨガ⑮ゆる体操初級⑯ゆる体操中級⑰座式太極気功運動⑱和紙ちぎり絵⑲ストレッチ体操)				
事業費(円)					
			歳入	歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	21,212,000	21,212,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 1267		実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		「かな作家のさまざま」展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成29年度	実施回数	1回
日時	平成29年4月22日(土)～7月17日(祝・月)			会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業(条例3条第1号及び第2号)として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。					
内容	「東アジア文化都市2016奈良」に協賛し、平成28年秋に開催した「中国書法から影響を受けた日本の漢字書家―碑学派、帖学派とその周辺―」展に引き続き、現代書壇を代表する12名の物故かな作家の作品を一堂に集め紹介。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	1,532,000	1,532,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値: 2,500人	実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		謙慎の書④ 上條信山の門流－書象会選抜展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成29年	実施回数	1
日時	平成29年10月7日(土)～平成30年1月14日(日)		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館		
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第1号及び第2号）として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。					
内容	現代の漢字系会派を紹介するシリーズ展で、関東を中心に活躍する謙慎書道会の第4回展。上條信山の門流から書象会の選抜作家24名の作品を紹介。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)	1,071,000	1,071,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値： 5,000人	実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		「華邨が書く細字の魅力」展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成29年	実施回数	1
日時	平成29年7月22日(土)～10月1日(日)		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業(条例3条第1号及び第2号)として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。				
内容	奈良市杉岡華邨書道美術館収蔵の華邨作品から、細字作品を集めて紹介。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)	730,000	730,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値:	1,500人	実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		名称未定・館藏品展		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成29年	実施回数	1
日時	平成30年1月20日(土)～4月15日(日)			会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業(条例3条第1号及び第2号)として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。					
内容	奈良市杉岡華邨書道美術館収蔵作品から、テーマに沿った作品を紹介。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	730,000	730,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値: 1,000人	実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		書道文化講座		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成12年	実施回数	3~4
日時	未定		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	企画展覧会出展者等の作品や制作論の講演、さらには書のみならず広く芸術文化に関わる講演を開催することで、書道愛好家の方に書道文化をより深く理解して頂くと共に、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、企画展覧会に関連する内容や広く書文化やその他芸術文化についてお話しいただく書道文化講座を年数回開催する。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	298,000	298,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 320名	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		文化講演会・文化講座等を実施します (書道文化講座・列品解説講座)		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-②③、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成12年	実施回数	2
日時	未定		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	杉岡華邨の作品の特徴や制作論を実際の作品を例にしつつ解説する講座等を開催することで、書道愛好家の方に書道文化をより深く理解して頂くと共に、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、杉岡華邨作品についてお話しいただく列品解説講座を年数回開催する。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	130,000	130,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 120名	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		書道実技講座		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-①②③、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成25年	実施回数	1回
日時	未定		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	書の初心者でも簡単に参加できる形式で、年賀状など生活で活かせる書の実技を体験できる講座を通して、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、初心者でも参加できる年賀状の書き方についての実技指導の講座。基本的な年賀状の書き方についての説明のあと実際に受講者が書いたものを個別に指導していただく。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	20,000	20,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 20名	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		調査研究・作品保存		担当課 施設名	(奈良市杉岡華邨書道美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(3)-①②③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成12年	実施回数	1回
日時	通年		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業（条例3条第2号及び第3号）として調査研究事業を行う。 奈良市杉岡華邨書道美術館の目的である書道文化の振興と書道史研究等の達成のため、調査研究及び普及活動を行うことにより、市民文化及び書道文化の発展振興のための一助とする。				
内容	書道史研究及び杉岡華邨作品の調査研究をすると共に、関係資料等の収集を行う。また、美術館の活動を記録し、書道史研究の資料とするため企画展覧会に合わせ作家や作品についての調査等を行い、それらを掲載した保存資料及び希望者頒布用に図録を作成する。また、書道文化普及のため夏休み期間の子供向けのクイズ企画をはじめ、子供、初心者向けの筆書き体験（水で書ける紙を使い、筆を使い自由に書くことの楽しさを体験してもらう）等の企画等を行う。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	1,510,000	1,510,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：	実績値：	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		（参加者）			
		（協働者）			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち篝火コンサート		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③、(2) -①・④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成10年度	実施回数	1回
日時	平成28年10月8日(土)開演18時半		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール	
目的	奈良出身のアーティストを中心としたコンサートを開催し、市民や観光客が音楽に親しみを持っていただける機会を提供するため。センター前芝生広場には、篝火を設置し、幻想的な夜のならまちの魅力も発信する。				
内容	予算段階では、奈良出身のアーティストを中心とした野外コンサートを例年通り3回予定していたが、今年度は、センター前広場を石畳から芝生張りへの改修工事完了が7月となった為、芝生養生や近隣住民への騒音問題を熟慮し、開催場所を急遽、市民ホールに調整・変更して1回を開催した。地域のホテルや旅館等には、宿泊者や観光客に対しての広報宣伝を依頼し協力していただき、ならまち振興事業グループ内他施設からは観客の受付・誘導補助、装飾設営等の人員派遣協力など、地域一体となった連携、協力で、にぎわいを育むことが出来た。				
事業費(円)					
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	610,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	支出	610,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	373,152	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	支出	373,152
事業成果					
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無	
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	7	参加者数300人、参加率100%。年度当初の計画では例年通りセンター前広場でのコンサート開催を予定していたが、センター前広場が芝生張り広場に改装の為、芝生養生や近隣への騒音問題を踏まえて、館内市民ホールで実施。開催場所を変更したことにより、当初は参加者数減も予想されたが、満員御礼となった。		
	参加者満足度	8	本事業は継続開催18年目を迎え、今年度も、参加者は、多くのリピーターがあり非常に満足度の高い催しとなっている。このことは、当施設にとって地域の方々に着目している催しの一つといえる。また、このコンサートは、当施設の自主事業の中で最も集客が見込める事業の一つであり、参加者率100%からも読み取れること、継続イベントで地域の方々はこのコンサートが定着していることから、参加者が満足度を十分に得ていたと考えると考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	6	周辺のホテルや旅館などに広報宣伝の協力依頼を行ったことで、宿泊客や観光客、地域住民が多数参加して下さることにつながった。また、ならまち内の他施設と連携協力し、受付その他の業務を助け合い行ったことは、互いの施設のさらなる信頼関係が育めた。これらは市民参画・協働の大きな成果と言える。ただ、例年の市民参加での飲食ブース等の出店は、コンサート開催場所を館内で行ったため行わなかった。今後、館内でも対応できる対策や方法を検討し成果につなげたい。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	レコーディングスタジオを経営されている方の声かけにより集った演奏者総勢18名のビッグバンドのジャズコンサート。メンバーは厳選された学生から社会人、第一線で活躍しているプロミュージシャンであり、その日限りのドリームコンサートで、クオリティの高さは言うまでもない。		
	ターゲットは適切に絞れたか	8	もともと地域ににぎわいを育むために企画したもので、ターゲットとしては地域住民や観光の街ならではの観光客。加えて、コンサート内容がジャズなので、ジャズ愛好家をもターゲットにしたところはある。周辺ホテル・旅館へ広報を行い、宿泊されている方の参加も多数見受けられ、またリピーターとしての地域住民の参加も多かったため、ターゲットは適切であったと考える。		
総合評価(自動計算)				7	
参加者や協働相手からの意見		本年度は諸事情を踏まえ1回のみ開催となったため、参加者からは回数をもっと増やしてほしいという意見が多数寄せられている。施設としては、18年にも及び継続イベントであり地域に定着してきた催しの一つであるため、少なくとも8月から10月の間に3回は開催したいと考えている。しかし広場の芝生への影響や音の問題など考え、今後事業名を見直し屋内での開催に変更することも検討しないと感じている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	多くの開催についての問い合わせがあることから本事業への関心が高いことを感じることが出来る。このことは、継続開催18年をも踏まえて、地域に密着、定着した事業だと考える。しかしながら今年度は、センター前広場の芝生改修工事が遅延し7月完了となったことで野外で開催することが困難となり、急遽、館内市民ホールで、1回のみ開催した。通常の貸館との調整を行いながらであった為、当初予定の3回を1回に減らさざるを得なくなった。また例年、協力団体の飲食ブースなどを芝生養生、保護の為、出店していたが事が出来ず、今後の開催の際の関わり方を見直す必要がある。 ※当事業は無料のコンサートであるためにその経費に関しては全て指定管理料で賄っている。今回においてはその指定管理料の収支差額は、236,848円であり、その残額は奈良市へ返納している。			開催場所をどうするか?芝生への影響は?野外コンサートの為に近年、地域からの音に関する苦情も寄せられていることから、次年度以降本事業をどうするか検討する必要がある。 例えば、イベント名称は変更せずに、コンサートは館内市民ホールで開催し、例年の館外の飲食ブースは芝生を完全養生したところで行い、イベントはコンサート以外の音の出ないイベント(アートギャラリーやインスタレーション的など)を開催するなど、どうやれば継続開催できるかをまずは検討していきたい。	

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまちいきいきフェスタ		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-①・③、(2)-①・⑤、(18)-②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成20年度	実施回数	年1回3日間	
日時	平成29年3月18日(土)～20日(月・祝)		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	市民に活動の場を提供し、当施設が新たな文化活動の拠点となることを目的とし開催する					
内容	奈良市在住または在勤の各種団体が様々なジャンルの発表を行う。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	177,000	支出	177,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	187,931	支出	187,931
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
	指標	評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	8	開催日を1日増やし、3日間に述べ4000人の来場者があった。出演団体数においても昨年38組に対して、本年度は48組となり10組の増加となった。			
	参加者満足度	7	個々ではホールを借り上げることが難しい団体があり、その大半が発表する機会を求めておられる。安価の参加費で発表できるこのような機会を多く増やしてほしいという意見が多数寄せられていることから、満足頂いていると感じている。			
	市民参画・協働の成果はあったか	8	参加者はすべて市内在住又は在勤の者に限っており、約800名の市民参加があった。集客面においてもそれぞれの団体が家族・友人等に声をかけ、集客に努めている。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	7	通常当施設を利用している団体を含めた多数の各種団体が、一堂に会する文化祭。その各種団体の参加者である市民が、日頃の練習や取り組みの成果を発表する場として心待ちにしているイベントであり、まさに市民が主役となっている事業である。質の確保・向上の基準点は参加団体それぞれで持っていて十分に達成しようと取り組まれている。そのため、その参加団体に対しての順位付け等は一切ない。各参加者の日頃の活動成果を多くの市民に見ていただく事を目的としていることが質の向上につながるという。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	子供から高齢者までさまざまな年齢層の出演者が参加することで、多くの家族・友人の来場者があった。この参加を機に、独自で市民ホールを借上げしての発表会を行うこととなった団体もいくつか存在する。このことから、ターゲットは適切に絞れていたと考える。			
総合評価(自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		毎年多くの参加申込団体がある。年によっては参加団体を抽選で決定する事態となっていることから、日頃の活動成果を環境の整った舞台上で発表したいということが分かる。参加者1団体の持ち時間を短縮し、より多くの団体が出演可能になるようにし、年間1回2～3日間の開催を年間2回述べ4～5日間に増やしてほしいという声も上がっている。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年盛り上がりを見せている本事業。その参加団体に共通している事は独自でホールを借り上げて行うことが金銭面でも集客面でも難しいと感じている。これほどまでに多くの団体からの参加希望があり、抽選会を行い参加数を決定することとなっている事は施設にとって大変うれしいことであり、今後も引き続き継続して行う。 ※当自主事業としての収支差額は、162,069円の黒字であり、当施設所属の統括団体、(一財)奈良市総合財団事務局に当財団の全体運営資金として資金移動し、次年度に向けた繰り越しを行っている。			会場に限りがあるために、参加団体数が増加すればするほど控室が不足することとなる。現時点でも控室を複数団体での共有使用を行い、何とか収めているところである。については、開催期間を長くするか、年間2回開催すかなど、より多くの方が参加出演出来るよう改善検討していきたい。また参加団体が多くなればなるほど人手を要するため、ボランティアスタッフを期間限定で一般募集し、市民参画の幅を広げていくことも考えたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち落語会		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-②・④、(4)- ③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成20年度	実施回数	年1回	
日時	平成29年2月12日(日)開演14時		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	伝統芸能である「落語・講談」を広く市民に親しんでいただく。冬の恒例行事として集客に努め、地域経済の活性化に貢献する。					
内容	「ならまち」に残る昔話や民話など交えて創作するなど、落語を通じて「ならまち」の魅力を広く発信する。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	150,000	支出	150,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	100,000	支出	100,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有(回収73件・回収率62%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		5	参加者数119人、参加率39.7%。目標値200人。昨年を上回る入場者数があったが、満席まではまだまだ努力が必要である。		
	参加者満足度		7	満足度(とてもよかった・よかった)91%。昨年と比較し10%上昇している。		
	市民参画・協働の成果はあったか		7	ならまちにある民間団体である「奈良町落語館」と協働で開催。その他の落語会を合わせると年間5本の寄席の開催を行い、次第に当施設での落語会が定着してきていると感じる。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		6	本事業は奈良市出身や奈良で活動されている断家を応援するとともに、奈良の特色を活かした寄席の実現を目指している。奈良市出身の落語家笑福亭生寿さんを中心にその師匠他2名ほどの計4席で開催した。質の確保は言うまでもなく、専門家としての伝統芸能を市民に体感していただくことが出来た。		
	ターゲットは適切に絞れたか		6	ターゲットは、幅広い世代の落語愛好家であり、地元ならまちの方々。奈良市内を中心に、木津川市や大和高田市、市外からは大阪や京都からの参加も多数見受けられた。「ならまち」に観光目的で来られた方にも多数来館していただくことが出来た。しかしながら、ターゲットが適切であったかどうかは、判断がつかない。ならまち界隈の方々はじめ、市民が日常的に芸能鑑賞出来るよう、より工夫していくことが必要。		
総合評価(自動計算)			6			
参加者や協働相手からの意見			他の落語会と違い、この公演でしか聞けない断(演目)が聞けて満足であるという意見が多くあった。この事からもっと地域色のある落語会にしていくよう、協働団体でもある「奈良町落語館」と検討することで一致した。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	一時の落語ブームからは少し落ち着きを見せ、メディアで露出の多い落語家でないとなかなか集客には繋がり難い。その中でも何の縁も無い落語家を誘致するよりは奈良の特色を活かせる演者選びを心がけるようにしている。 ※当自主事業としての収支差額は、92,500円の赤字であり、当施設所属の統括団体、(一財)奈良市総合財団事務局に当財団の全体運営資金として資金移動し、次年度に向けた繰り越しを行っている。			年々増加傾向にあるこの催事。アンケートから十分な分析を行い、今後の本事業に生かしていく。また一般募集で断家養成講座等を開催し、プロの断家と一般市民からの講座修了生との交流を踏まえたイベントを企画するなど、今までの鑑賞型から参加体験型の行事も検討する。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまちコンサート		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -①、(5) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成20年度	実施回数	年1回	
日時	平成28年4月15日(金)開演18時		会場	奈良市ならまちセンター 市民ホール		
目的	奈良市総合財団のスケールメリットを生かし、他施設(特に奈良市音声館)と協働で企画し、互いに今後の事業展開に繋げていく。					
内容	奈良らしい音楽コンサートを開催することを目的に、ニューヨークで鍛え上げた洗練されたセンスをベースに進化し続ける奈良出身の実力派ジャズピアニスト兼作曲家、秋田慎治によるジャズピアノソロライブ。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	400,000	支出	400,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	299,483	支出	299,483
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
	指標	評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	6	参加者数 195人、参加率 65%。目標値200人。 参加者数においては目標数には少し届かなかったものの、収支では大幅な黒字となった。			
	参加者満足度	6	当施設としてのアンケートの実施は行わなかった為に、実際の満足度として数値化することはできなかった。しかし出演者が独自で行ったアンケートを見る限りでは、大半が次回を望んでおり満足度が高いように思われた。			
	市民参画・協働の成果はあったか	7	出演者であるジャズピアニストの秋田慎治さんが奈良県出身であることから多くの友人や家族が来場していただいた。広報面でも看板・広報物の制作や掲示スペースの提供など、他施設と連携して行った。			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	8	ソロピアノツアーの最終公演として奈良公演が実現した。国内外問わず多方面で活躍されており、各方面で高い評価を得ている実力派のアーティストである。			
	ターゲットは適切に絞れたか	7	金曜日の夜公演にすることで、仕事終わりにでも参加できるように設定し、多くの来場者を魅了した。			
総合評価(自動計算)		7				
参加者や協働相手からの意見		奈良出身の演奏者ではあるが、主に東京など関東を中心に演奏活動をされている為に、地元関西での公演が少ない。その中で奈良での公演はなかなか機会がなく、毎年恒例としてかいいいしてほしいという意見があった。演奏者でもある秋田さんから、引き続き奈良での公演活動を続けたいと言っていた。				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	県内の文化施設やフリーペーパー、情報誌などへの公演案内を行ったが、当初はチケット販売が思うように伸びず大変苦労した。今回の演奏者である秋田さんはジャズを中心にライブハウス等で活動されている事が多く、市民ホールといった数百人収容の施設よりかは小規模スペースで飲食をしながら聞いていただく形が多いように思われる。またトリオ編成ではなく、ソロコンサートであった事からジャズファンを取り込むことが出来なかった。 ※当自主事業としての収支差額は、143,517円の黒字であり、当施設所属の統括団体、(一財)奈良市総合財団事務局に当財団の全体運営資金として資金移動し、次年度に向けた繰り越しを行っている。			ジャズといったジャンルに限らず、周辺にある飲食店・施設などと情報交換を行い、地域活性・にぎわい創出に向けた行事となるべく財団他施設や地域と協働で企画検討していく。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち文化講演会		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -④、(2) -④、(3) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成10年	実施回数	年1回	
日時	開催なし		会場	奈良市ならまちセンター 会議室(予定)		
目的	市民・観光客を対象に奈良の文化財に対する理解を深め、保護・普及を身近に感じていただくことを目的に開催する。					
内容	毎年秋に奈良国立博物館で行われる「正倉院展」の事前学習会。宮内庁正倉院事務所から講師を招き、公開される宝物の解説・見所及び保存法などを講演していただく。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	37,000	支出	37,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)						
指標		評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
量的 成果	参加者数・参加率の達成度	0				
	参加者満足度	0				
	市民参画・協働の成果はあったか	0				
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか	0				
	ターゲットは適切に絞れたか	0				
総合評価(自動計算)		0				
参加者や協働相手からの意見						
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	5月頃から宮内庁正倉院事務所との講演会日程・講師派遣を調整したが、日程調整が上手くいかず開催することが出来なかった。			毎年、事前学習会として行うために正倉院展が始まる10月下旬前の10月初旬から中旬の間に行っていた。正倉院事務所内の研究員及び調査員の異動等で講師となる人材が限られており、その方に調整が非常に困難であった。正倉院展自体がいつから開催されるかはその年の夏以降にならないと発表されないこともあり、市民だより等の広報を行う締切を考えると厳しい状況はある。2年連続で開催することが出来ておらず、29年度からは本事業を廃止し、他の新規事業を計画している。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		わらべうた教室		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(4) -① (9) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	子どもクラス：6クラス×年25回 いきいきクラス（大人）：3クラス×年10回
日時	子どもクラス：毎月火～金曜日 9：30～11：30 / 15：00～16：45 いきいきクラス：毎月第4金曜日 ①10：00～11：15 ②12：30～13：45 ③14：30～15：45		会場	音声館ホールまたはプレイルーム2	
目的	奈良に伝わる“わらべうた”を継承し、ならまちの文化振興に役立てるとともに、わらべうたを通して奈良の歴史や文化への関心を育み、ふるさと奈良への愛情と誇りを育む。 わらべうた本来の姿を大切にしながら現在にふさわしいアプローチ方法を用いてわらべうたへの興味・関心を引き出し、同時にわらべうたを通して子どもたちの人間関係づくりを援助し、幅広い層での世代間交流を経験できる場を提供する。				
内容	1・2歳児クラス（親子）2クラス/水・木：各25組程度 3歳児クラス（親子/子どものみ）2クラス/木・金：各20人程度 4・5歳児クラス（子どものみ）/木：20人程度 小学生クラス（1～6年生）/水：40名程度 いきいきクラス（50歳以上）3クラス/金：各70名程度				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	4,704,000	4,704,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成	参加者数・参加率の達成度		目標値：400 実績値：		
	参加者満足度				
果	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		出張わらべうた教室		担当課 施設名	(奈良市音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(7) -③
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年度より 有料化		実施回数	随時
日時	通年		会場	各施設または音声館プレイルーム2・ホール		
目的	市内外の学校・園等を中心に出張わらべうた教室を行い、わらべうた遊びの指導を行う。幼児・初等教育におけるわらべうた遊びの実践方法を現場で公開することで、教員等がわらべうたの効果を実感し現場に取り入れやすくなるよう推進する。 ならまち・音声館の活動を広報するとともに、遠足等での来館を推進する。					
内容	学校・園等からの依頼を受け職員及びわらべうた講師が出向き、出張わらべうた教室を開催してわらべうた遊びの指導等を行う。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	451,000	451,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：1,500		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		奈良の民話普及事業 (劇団「良弁杉」)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①②③④ (7) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	随時
日時	通年		会場	館外および音声館ホール	
目的	奈良に伝わる数多くの民話を、より広くの人々に知ってもらうために、ミュージカルや紙芝居という幅広い世代に楽しんでもらえる手法により普及活動を行う。				
内容	市民劇団により、奈良に古くから伝わる民話をもとに音声館が制作した創作ミュージカル「二月堂良弁杉」の定期公演を行う。また奈良の民話を題材にした大型紙芝居・中型紙芝居を制作し、小学校・幼稚園等への出張公演を行う。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 (事業収入等)	3,057,000	3,057,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：1,300		実績値：
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		エントランスギャラリー		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成8年	実施回数	通年（1期間：10日～14日）
日時	通年		会場	音声館エントランス	
目的	館内空間を無駄なく利用し、同会場にて開催のコンサートと同時開催することで、耳だけでなく目でも楽しんでもらうことを目的としている。また、ギャラリー目的の来館者に足を運んでいただくことで、同館での活動を知ってもらう機会とする。				
内容	一般公募において応募のあったグループまたは個人の作品展示。年間約20組の作品展を開催。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	28,000	28,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：160		実績値：
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		エントランスギャラリー (ギャラリー制作教室)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成8年	実施回数	4回
日時	①7月22日(土)2回 ②8月5日(土) ③11月28日(土)		会場	音声館 2F会議室	
目的	ギャラリー出展者を講師に迎え、見るだけでなく、制作することで芸術の奥深さを感じてもらうことを目的とする。				
内容	子ども対象：制作教室（科学工作）／大人対象：水彩画教室				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 (事業収入等)	28,000	28,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値：	実績値：
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）			#DIV/O!		
参加者や協働相手からの意見			(参加者)		
			(協働者)		
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		楽しく！コーラス		担当課 施設名	(奈良市音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(8) - ①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成20年	実施回数	年30回	
日時	月2～4回（土曜日または日曜日）		会場	音声館ホール、その他		
目的	親子を含め、子どもと大人が一つのコーラスグループとなって、ともに音楽を創り上げる機会として活動する。また、男女や大人、子どもを分けて取り組む機会を作り、各々の歌唱力向上への働きかけも行う。					
内容	童謡やわらべうた、ポップスなど様々な分野での合唱に取り組み、子どもも大人も楽しくコーラスに親しむ機会とする。また、子どもと大人がともに活動する中で共通の目標を持ち、完成させる喜びを伝える。今年度は事業開始10周年を記念してファミリーコンサートの開催を予定している。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	1,496,000	1,496,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値：50	実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		子ども邦楽教室～三味線・尺八・箏～		担当課 施設名	(奈良市音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(4) -①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	三味線（平成21年） 尺八（平成23年） 箏（平成25年）		実施回数	年13回程度
日時	毎月、土曜または日曜、月1～2回		会場	音声館ブレイルーム2または和室		
目的	近年、学校音楽教育で必修となった邦楽を手軽に学べる場を提供し、日本の文化を学ぶことを目的とする。					
内容	邦楽の師匠を講師に招き、邦楽の基礎を学ぶ。また、年1回成果発表の場を設け目標を持って稽古に取り組んでいる。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	573,000	573,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値：50	実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		エントランスコンサート		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -① (5) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	年6回（隔月1回）
日時	隔月第二日曜日 14:00~14:45		会場	音声館エントランス	
目的	聴きに来てくださった方が一緒に参加できる音楽を毎月定期的に行い、また、同会場にて開催のギャラリーや子どもお茶教室生による茶会（年間4回）を同時に企画することで、五感で楽しむコンサートを開催し、市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来館いただき、同館での活動を知っていただく機会とする。				
内容	企画・演出・出演等を音声館スタッフが中心に行い、職員の素養や専門性を活用する。アマチュア演奏者等をゲストに迎え、発表の場を提供するとともに、提供する音楽の分野の幅を広げる。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	113,000	113,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：	実績値：	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		エントランスコンサート (やわらぎコンサート)		担当課 施設名	(奈良市音声館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -① (5) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成24年	実施回数	年24回
日時	土日祝の指定日 14:00~14:45		会場	音声館エントランス	
目的	無料のコンサートを通して市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来館いただき、同館での活動を知っていただく機会とするとともに、アマチュア演奏家を中心に演奏発表の場を提供する。				
内容	年度末に出演者を募集。音響・司会等運営を音声館スタッフがを行い、アマチュア演奏者等に発表の場を提供する。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 (事業収入等)	113,000	113,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：1,900		実績値：
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成29年度）

事業名		子どもお茶教室		担当課 施設名	(奈良市音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(4) - ①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成15年		実施回数	年12回
日時	毎月、第2日曜 正午～3時			会場	音声館和室	
目的	日本に伝わる伝統的な文化である「茶道」を次世代への継承するため、また、子どもたちが経験を通して日本の文化を知り、ふるさとを愛する心を育むことを目的とする。					
内容	茶道の講師を招き、小学生を対象に茶道の基本的な作法や点前を月1回稽古する。年4回、館内において「お茶会」を開催。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）	181,000	181,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値：25	実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 古色大和路」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) - ④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成29年4月15日～7月17日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉の代表作「古色大和路」をテーマに展覧会を開催。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	229,000	その他収入 (事業収入等)	0	229,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値:	観覧者数5,500名	実績値:
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「本橋成一 在り処」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成29年4月15日～7月17日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。				
内容	本橋成一（1940年- ）は1960年代から市井の人々の姿を写真と映画という二つの方法で記録してきたドキュメンタリー作家の作品展。また、代表作にチェルノブイリ原発事故の後もかの地で暮らす人々の日々を写し撮った作品があり、被曝した故郷をテーマとした本橋の写真は、3・11を経験したわれわれに切実なメッセージを投げかける作品を紹介。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	3,039,000	その他収入 （事業収入等）		3,039,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値： 観覧者数5,500名 実績値：		
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		（参加者）			
		（協働者）			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「開館25周年記念 入江泰吉 菊池寛賞受賞作品展」		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成29年7月22日～8月27日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉記念奈良市写真美術館の開館25周年を記念して入江泰吉写真展を開催。本展は昭和51年に「古色大和路」「万葉大和路」「花大和」の三部作で菊池寛賞を受賞した作品を中心に展示構成します。					
事業費(円)						
歳入						
予算	市費(指定管理料等)	901,000	その他収入 (事業収入等)			歳出 901,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値:	観覧者数2,700名	実績値:
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 古き仏たち」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成29年9月1日～12月24日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。				
内容	今なおファンの多い、入江泰吉の仏像写真を中心に展示構成します。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	270,000	その他収入 (事業収入等)		270,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 観覧者数7,000名		実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「三好和義 室生寺」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成29年9月1日～10月9日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。				
内容	楽園写真家としての地位を確立した三好和義の写真展。今回は「室生寺」をテーマに展示構成します。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	1,185,000	その他収入 (事業収入等)		1,185,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 観覧者数2,700名		実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「秋山亮二 なら旅行」		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成29年10月11日～11月5日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	「奈良」の街を独自の視点でスナップした秋山亮二の写真展を開催します。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	1,230,000	その他収入 (事業収入等)		1,230,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 観覧者数1,600名		実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「百々武 日々は絶景」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成29年11月7日～12月3日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	奈良県南部地域の里山の人の暮らしをテーマにした百々武の写真展を開催します。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	965,000	その他収入 (事業収入等)		965,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 観覧者数1,500名		実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「In print, Out of print～表現としての写真集～」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成29年12月9日～12月24日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。				
内容	一冊の写真集ができあがるプロセスをさまざまな角度から検証し、現代に存在価値を再発見された「表現としての写真集」の側面をみていただく展覧会。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	400,000	その他収入 (事業収入等)		400,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値:	観覧者数1,200名	実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 大和の観音道」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成30年1月4日～4月8日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉の代名詞ともいえる「古寺巡礼」シリーズを中心に展示構成します。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	343,000	その他収入 (事業収入等)		343,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 観覧者数5,300名		実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		指定管理事業 展覧会「市橋織江」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成4年度		実施回数	1回
日時	平成30年1月4日～4月8日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館		
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	広告・雑誌の写真家として第一線で活躍する若手写真家である市橋織江の写真展を開催します。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	1,195,000	その他収入 (事業収入等)		1,195,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値:	観覧者数5,300名	実績値:
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		自主事業 高畑デジタル写真倶楽部		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成18年度	実施回数	48回
日時	平成29年4月～平成30年3月		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	写真文化の普及と発展を目的に開催する。				
内容	近年普及が拡大しているデジタルカメラを専門とする講座。基礎から撮影、表現法などを学んでいただく。				
事業費(円)					
歳入					
予算	市費(指定管理料等)	600,000	その他収入 (事業収入等)		歳出 600,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 定員100%	実績値:	
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		自主事業 高畑探検隊15		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成13年度	実施回数	1回
日時	平成29年8月21日		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館～奈良公園	
目的	写真文化の普及や発展のみならず、夏休みの子供向け事業として写真美術館が位置する奈良公園界隈の自然について学んでいただくことを目的とする。				
内容	高畑界隈から奈良公園の生態系について学んでいただく。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	40,000	その他収入 (事業収入等)		40,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 参加者50名		実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		入江泰吉記念写真賞・なら PHOTO CONTEST		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(18) - ①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成26年度	実施回数	1回
日時	通年		会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館 他	
目的	「日本人の心のふるさと」と言われる奈良大和路を約半世紀にわたって撮り続け、大和の景観を心象風景としてとらえ続けてきた写真家・入江泰吉の文化・芸術への功績を記念し、奈良大和路から日本文化の美と心を発信するとともに、歴史的景観を後世へ守り伝える。				
内容	入江泰吉記念写真賞は、未来そして世界に向けてのメッセージとして「写真集」を製作し、私たちの心に深く記憶される普遍的な生の眼差しを持った写真の作り手を支援するために開催。 ならPHOTO CONTESTは、より多くの方々に参加いただけるよう「奈良」をテーマに単または組写真を募集。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	2,860,000	その他収入 (事業収入等)		2,860,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値:	— (実施計画年度のため)	実績値:
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 その他事業 a.アトリエ開放（全2回） b.写真集を旅する午後（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(16) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回（×2回）
日時	平成29年4月～平成30年3月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるため、アトリエを開放、写真集の閲覧など入江の居住空間、入江泰吉の理解を深めていただく。					
内容	a.普段は立ち入り禁止のアトリエ部分に入っただき、入江泰吉の理解を深める。あわせてスタッフ立会いのもと、記念撮影も可とする。春（5月3日～7日、5日間）、秋（紅葉シーズン）と2回実施。 b.生前、出版した写真集を閲覧し入江作品の理解を深める。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入（事業収入等）	0	0	
決算	市費（指定管理料等）	0	その他収入（事業収入等）	0	0	
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値： 150名		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉の眼を歩く（全1回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) - ③
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成29年度	実施回数	1回
日時	平成29年秋			会場	入江泰吉旧居 他	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるとともに、写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	入江泰吉が奈良大和路の風物に対して、どのように向き合い撮影してきたのか探るため、作品の撮影地を訪ねる。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	10,000	10,000
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			年1回、開催。定員（20名） 目標値： 20名 実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 暗室体験（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(8) -①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成29年7月、8月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるとともに、若い世代に写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	若い世代、小学生をターゲットに写真やカメラの歴史、原理を親子で学び体験していただく。また写真家・入江泰吉が使っていた暗室を利用し、知っていただく。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	32,000	32,000	
決算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	0	0	
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		年2回、開催。定員（各親子5組） 目標値： 10組 実績値：			
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 暗室体験（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成29年10月、11月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるとともに、写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	旧居の暗室を使って、現像、プリント作業を体験する。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	100,000	100,000
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			年2回、開催。定員（各4名） 目標値： 16名 実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉旧居で、はじめの一句（全6回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	6回
日時	平成29年5月～平成30年3月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し旧居の保存活用をはかるため、俳句をとおして奈良の四季を感じていただき、文化振興に努める。					
内容	初心者向けに俳句作りをレクチャーを行い、実作と添削を行う。指導はNPO法人文化創造アルカ・倉橋氏。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	60,000	60,000
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			年6回、開催。定員（各10名） 目標値： 60名 実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 行事を語る 伝統行事と入江泰吉（全4回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	（4）-④
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	4回
日時	平成29年9月～平成30年3月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し、入江作品から奈良の伝統行事を探り、奈良の文化振興に努める。					
内容	奈良の伝統行事を紹介するため、それに関わる人を講師に招き行事の内容や意味について講義する。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	40,000	40,000
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			年4回、開催。定員（各20名） 目標値： 80名 実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 お抹茶でひとやすみ（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	2回
日時	平成29年5月、11月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰し、旧居を保存活用するため、抹茶で来館者をもてなす。入江の撮影拠点である居住空間から功績を偲ぶ。					
内容	日本家屋の風情あるたたずまいから入江泰吉を偲ぶため、抹茶と茶菓子を有料で提供。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	26,000	26,000
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			年2回、実施。定員（各20名） 目標値： 40名 実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 今昔ツアー（全2回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(12)-①
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成28年度	実施回数	4回
日時	平成29年7月、8月			会場	奈良公園 他	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江作品を使って奈良の歴史文化を探る。					
内容	東大寺や興福寺、奈良公園内を散策し、写真に写された今と昔を巡る。解説はNPO法人文化創造アルカ・倉橋氏。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	8,000	8,000	
決算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	0	0	
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		4回、開催。定員（各20名） 目標値： 80名 実績値：			
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉さんぼみち（全9回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(16) - ②
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成27年度	実施回数	9回
日時	平成29年4月～平成30年3月			会場	東大寺境内	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江の撮影場所を散策、入江作品の理解を深め、奈良の文化を育む。					
内容	東大寺境内で、入江泰吉の撮影スポットを散策し、NPO法人文化創造アルカ・石井氏が解説する。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	18,000	18,000	
決算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	0	0	
アンケートの集計						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		9回開催。定員（各10名） 目標値： 90名 実績値：			
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉の「ことば」を学ぶ（全6回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(16)－②
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成27年度	実施回数	6回
日時	平成29年4月～平成30年2月			会場	入江泰吉旧居	
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江の考え、思いをとおして奈良の文化を育む良い機会とするため。					
内容	写真家・入江泰吉が残した書籍（『入江泰吉自伝～「大和路」に魅せられて』（佼成出版社 1993年）から一節を取り上げて、NPO法人文化創造アルカ・倉橋氏が朗読、解説する。					
事業費（円）						
				歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度			年に6回開催。定員（各10名） 目標値： 60名 実績値：		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		自主事業 入江泰吉を語り継ぐ（全6回）		担当課 施設名	（ 文化振興課 入江泰吉旧居 ）		
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目		
	基本施策	2-05	文化振興				
	施策	2-05-01	文化の振興				
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成27年度	実施回数	6回	
日時	平成29年5月～平成30年3月			会場	入江泰吉旧居		
目的	奈良大和路の写真家・入江泰吉を顕彰するとともに、入江の考え、思いをとおして奈良の文化を育む良い機会とするため。						
内容	入江泰吉のゆかりの人々から、入江の思い出を語っていただく。今回は写真グループ・水門会をはじめ、入江氏から指導を受けた写真家を招いて話を伺う。						
事業費（円）							
				歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	60,000	60,000	
決算	市費（指定管理料等）		0	その他収入 （事業収入等）	0	0	
事業成果							
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：		
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）				
成 果	参加者数・参加率の達成度			年に6回開催。定員（各20名）			
	参加者満足度			目標値： 120名	実績値：		
	市民参画・協働の成果はあったか						
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか						
	ターゲットを意識した企画であったか						
総合評価（自動計算）			#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見			(参加者)				
			(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標			

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		文化サロン 文化講演会・資料展		担当課 施設名	(文化振興課 名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) - ②、(10) - ②①
	基本施策	2・05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成23年3月	実施回数	8回目(年1回)	
日時	平成30年3月		会場	当文化館会議室、展示室		
目的	名勝大乗院庭園の発掘調査と保存整備に長年にわたり尽力いただいた奈良文化財研究所の協力の下に文化サロンを実施して、当庭園の理解度を深め、庭園の発祥地としての奈良の紹介に繋げたい。					
内容	平成30年3月にパネル資料展を開催し、その間に講演会を実施する。担当者、テーマ未定					
事業費(円)						
歳入						
予算	市費(指定管理料等)	47,000	その他収入 (事業収入等)	12,000	歳出 59,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値: 講演会受講数30人 展示入場1700人		実績値:	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		各種お茶会の開催・夜間の催し		担当課 施設名	(文化振興課 名勝大乗院庭園文化館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成22年		実施回数
日時	茶会4/29、5/21、8/11、12、9/18、10/4、12/3 夜 間催し8/11、12燈花会、8/15大文字観賞、10/4観月、		会場	茶会：館内和茶室 催し：大乗院庭園内	
目的	庭園と深い関係のお茶会を実施する。当文化館のお茶室を有効活用する。幻想的な燈花会を庭園に再現する。またいにしへの催しである観月の夕べ、大文字送り火観賞等夜間の庭園公開に繋ぐ				
内容	春と秋の庭園観賞お茶席を開催、秋については一人500円で入園付きとしたい。茶会にはみどり会無料茶会（共催）を含む。中秋の名月の観月の夕べは庭園管理協議会が主催、当館は共催。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	108,000	その他収入 (事業収入等)	茶会4回の収入90,000	198,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成	参加者数・参加率の達成度		目標値：4回のお茶会172人		実績値：
	参加者満足度				
果	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		庭園講座・庭園研究講座		担当課 施設名	(文化振興課 名勝大乗院庭園文化館)
総合計画 該当項目	章	大2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成23年	実施回数	庭園講座13、14回目 庭園研究講座5回目
日時	庭園講座5/20、11/25 庭園研究講座10月予定		会場	大乗院庭園文化館内	
目的	中世の名勝庭園文化施設として日本の庭園文化を紹介する講座を開催したい、当庭園の理解を深めて誘客を図ると共に新しい庭園研究等の情報を提供して奈良の庭園文化の紹介に繋げたい。				
内容	庭園講座：第13回「日本庭園の現場から・作庭紹介2000年以後」第14回「日本庭園の現場から」～結界～ 第5回庭園研究講座：10月予定				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	45,000	その他収入 (事業収入等)	36,000	81,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：受講者数3講座計90名(募集定員) 実績値：		
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価(自動計算)		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		庭園・館内コンサートの実施		担当課 施設名	(文化振興課 名勝大乗院庭園文化館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成23年4月	実施回数	年3回
日時	「湖国と奈良と…ジョイントコンサート」 4/8、11/11、フルートコンサート4/16		会場	エントランスホール・和茶室又は庭園	
目的	誘客と身近な音楽の楽しさを提供して庭園に接する機会としたい。フォーク等のコンサート（ジョイントコンサート）2回、フルートコンサート等庭園観賞と併せて開催する。				
内容	湖国滋賀県から「ほっとらいん」地元の奈良から「109バンド」のニグループにより、よし笛ギターで共に歌うなど楽しいコンサートとフルートに聴き入る安らぎのコンサートを開催する。				
事業費（円）					
歳入					
予算	市費（指定管理料等）	32000（消耗品費で賄う）	その他収入（事業収入等）	0	歳出 32,000（消耗品費で賄う）
決算	市費（指定管理料等）		その他収入（事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計		配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：1回当たり60人 計180人		実績値：
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		近隣文化施設との連携事業		担当課 施設名	(文化振興課 名勝大乗院庭園文化館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(2) -①、③、④、⑤
	基本施策	2・05	文化振興			
	施策	2・05・1	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続		事業開始年	平成22年度	実施回数	各施設年1回(写真美術館、書道美術館、奈良市美術館)
日時	書道美術館「パネルで見る杉岡華邨展」8月予定、入江泰吉出張展示12月～1月予定、奈良市美術館ミニ出張展示2月予定		会場	当文化館内展示室		
目的	近隣の文化施設の協力により出張展示を行ない当館、当庭園の誘客を促進すると共に各施設の作品に身近に触れて奈良の魅力を感じていただける機会としたい。					
内容						
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入(事業収入等)	0	0	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入(事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度			目標値: パネル展800人、写真展1200人ミニ出張展1200人 実測値:		
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見			(参加者)			
			(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		第八回 学園前寄席		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	1回
日時	平成29年5月27日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前地域の在住、並びに奈良市・外の近隣の皆さまに、本格的な上方落語を楽しんで頂き、笑いがもたらす健康増進効果で日頃のストレス発散と、心のうるおいに寄与する。					
内容	今年度最初の学園前寄席。 その中でも徐々に頭角を現してきた桂 阿か枝。 桂 咲乃輔・笑福亭 風喬を迎えての3人寄席。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	286,000	286,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：200		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		テレマン・プチアンサンブル		担当課 施設名	（ 奈良市西部会館市民ホール ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続		事業開始年	平成27年	実施回数	3回
日時	平成29年6月17日			会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	奈良県、主催のムジークフェストなら2017。 昨年に続き文化振興の目的で参加、今回も学園前在住のチェンバロ演奏者、中野振一郎さんを始め他3名で本格的なクラシックコンサートの実施。					
内容	クラシック音楽で「笛」と言えば「フルート」ですが、バロック時代は「縦」のリコーダーと「横」のフルートの両方が定番の楽器。日本を代表するリコーダー奏者北山隆プロデュースで、「笛」の魅力を披露。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	695,000	695,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：267		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
ターゲットを意識した企画であったか						
総合評価（自動計算）			#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		オペラ ガラ アニソン・特撮ソング コンサート		担当課 施設名	（ 奈良市西部会館市民ホール ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成29年		実施回数	1回
日時	平成29年7月2日			会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	学園前ホールで小規模なオペラを企画、学園前地域住民や奈良市民に本格的なオペラコンサートを提供。					
内容	学園前在住の声楽者、肥田真莉子を筆頭に二期会に所属されているメンバーも含めた9名様を招致したオペラコンサート。 「オペラ！敷居が高いと思いませんか？笑いあり、感動あり」のオペラ ガラ アニソン 特撮コンサート。					
事業費（円）						
歳入						
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	414,000	歳出 414,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：227		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		リ・フレッシュ コンサート vol.11 奥幸代 ヴィオラ コンサート		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年度	実施回数	1回	
日時	平成29年7月17日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	「ヴァイオリンとヴィオラ何処が誓うの?」と言う疑問から企画構成を行い、お客様にヴィオラの魅力を知って頂く 目的で考案したコンサート。					
内容	大阪、兵庫で活動をしている二人。(ヴィオラ演奏者：奥幸代・ピアノ演奏者：永坂恭子) 今回が初めての奈良でのコンサート、ヴァイオリンとヴィオラの違いの説明を取入れながらのデュオ演奏会					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	270,000	270,000	
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：150		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上に つながる工夫がなされたか					
	ターゲットを 意識した企画であったか					
総合評価(自動計算)		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		リ・フレッシュコンサート vol.12 チャーリーニニシオ 「真夏のオールディーズショー」		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年	実施回数	3回
日時	平成29年8月27日		会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	今もすたれない古き良き時代に流行った音楽をシニア世代と若者世代に届け、奈良市内外に話題と賑わいづくりに寄与する。				
内容	学園前ホールで人気のコンサート、1950年代半ばに登場したエルビス・プレスリー、甘い美声で時に激しく歌ったコンサートを再現、カントリー・ブルースなど多彩なロックンロールを披露。				
事業費（円）					
		歳入			歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	290,000	290,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計		配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：200		実績値：
	参加者満足度				
	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/O!			
参加者や協働相手からの意見		（参加者）			
		（協働者）			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		第九回 学園前寄席		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	1回
日時	平成29年9月30日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前地域の在住、並びに奈良市・外の近隣の皆さまに、本格的な上方落語を楽しんで頂き、笑いがもたらす健康増進効果で日頃のストレス発散と、心のうるおいに寄与する。					
内容	桂 文枝、最後の弟子、桂 阿か枝を筆頭に・笑福亭 呂竹・林家 染八の噺家を迎えての、お馴染みの学園前寄席。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	286,000	286,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：200		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		阿見真依子 ピアノ コンサート		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成28年		実施回数	2回
日時	平成29年10月22日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前在住で2016年 第17回ロベルト・シューマン国際コンクール第3位の実力を持つピアニストの演奏を披露、クラシック音楽の素晴らしさを広めて行く。					
内容	今回、(株)大阪共立が指定管理を行っている、ライティホールとツアー形式で実施、学園前ホールではモーツァルト・シューマン・スクリャーピンの曲を披露する。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	441,000	441,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：200		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		国文祭・障文祭参加作品 学園前アートフェスタ2017 文化祭		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成27年		実施回数	2回
日時	平成29年11月4・5日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	芸術レベルの概念を取り払って国民文化祭・障害者芸術文化祭のテーマに併せ、また学園前アートフェスタと同時期に開催する事によって、地域外との交流をとおり、絆と賑わいをもたらし文化の発展に寄与すると同時に学園前ホールの知名度UPにつなげて行く。					
内容	アーティストバンク登録者のアーティスト達に発表機会を創出すると同時に、今回初めて奈良県立養護学校の生徒達のクラブ活動の発表の場を提供する。また参加者を一般公募し、日頃の文化・芸術活動の成果を発表する機会を提供する。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	1,000,000	1,000,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：500		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/0!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		上方落語会		担当課 施設名	（ 奈良市西部会館市民ホール ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	5回
日時	平成30年1月		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	テレビでお馴染みの嘶家を迎えての本格的な上方古典落語を大阪まで出かせないで奈良市民の方々に提供。					
内容	米朝事務所との共催で行う毎年恒例の新春落語会。本格的な上方落語を披露。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	875,000	875,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：300		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		リ・フレッシュ コンサート vol.13 コンサート		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -⑤
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	2回
日時	平成30年2月22日		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	市民が手軽で楽しめる音楽を手頃な価格で提供する。					
内容	プロのアーティストや市内で活躍するセミプロの演奏家を迎えてのホールでのコンサート。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	290,000	290,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成	参加者数・参加率の達成度		目標値：180		実績値：	
	参加者満足度					
果	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		アーティストパフォーマンス & バリアフリー コンサート		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③
	基本施策	2-05	文化振興課		(2) -⑤
	施策	2-05-01	文化の振興		(5) -① (16) -①
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年	実施回数	3回
日時	平成30年3月24日		会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	『社会包摂』を目的とし、日頃様々な理由で施設に来館できない障がいを外し、すべての人が楽しめるバリアフリーコンサート。芸術活動応援事業“アーティストバンク”に登録して頂いている2組のアーティストに発表の場を与え、本格的な演奏をお客様に提供する。				
内容	クラシック音楽に接する機会を持って頂ける様に、障害のある人もない人も大人も子供も一緒に生音楽を親しんで貰う本格的なクラシックコンサート。				
事業費（円）					
			歳入		歳出
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	300,000	300,000
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）		
事業成果					
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
成	参加者数・参加率の達成度		目標値：150		実績値：
	参加者満足度				
果	市民参画・協働の成果はあったか				
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか				
	ターゲットを意識した企画であったか				
総合評価（自動計算）		#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		(仮) ワークショップ		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	3回
日時	未定		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	学園前ホールの認知度UPと地域住民達の交流の場を提供しつつ、家族と地域住民との絆を強める。					
内容	子供から大人まで、観て楽しめる体験や物作りを経験して頂ける内容を検討中。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	50,000	50,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：50		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価（自動計算）		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		(仮) アウトリーチ		担当課 施設名	(奈良市西部会館市民ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③ (2) -③
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成25年		実施回数	1回
日時	未定		会場	奈良市西部会館市民ホール		
目的	催物を観に行きたいが、何らかの原因で観に来れない方々に出張コンサートを実施検討。					
内容	病院や障害者施設に出張コンサートを検討中。					
事業費 (円)						
			歳入		歳出	
予算	市費 (指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	70,000	70,000	
決算	市費 (指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：100		実績値：	
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか					
	ターゲットを意識した企画であったか					
総合評価 (自動計算)		#DIV/O!				
参加者や協働相手からの意見		(参加者)				
		(協働者)				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		

奈良市文化振興計画 事業評価シート（平成 年度）

事業名		アーティストバンク		担当課 施設名	（ 奈良市西部会館市民ホール ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目	(1) -③
	基本施策	2-05	文化振興課			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続		事業開始年	平成25年	実施回数	5回
日時	随時			会場	奈良市西部会館市民ホール	
目的	学園前ホール自主事業での出演の他、市内外での出張パフォーマンスを依頼するなど、発表の機会を増やして、皆さまの芸術をサポートを目的とする。					
内容	芸術活動を行っている方々、プロ・アマ・ソロ・グループを問わず、随時募集。					
事業費（円）						
			歳入		歳出	
予算	市費（指定管理料等）	0	その他収入 （事業収入等）	30,000	30,000	
決算	市費（指定管理料等）		その他収入 （事業収入等）			
事業成果						
アンケートの集計			配布数：	回収数：	回収率：	
指標		評価 (5点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）			
成 果	参加者数・参加率の達成度		目標値：随時募集を行っている為、目標値は定めていない。実績値：			
	参加者満足度					
	市民参画・協働の成果はあったか					
	質の確保・向上に つながる工夫がなされたか					
ターゲットを 意識した企画であったか						
総合評価（自動計算）			#DIV/0!			
参加者や協働相手からの意見		（参加者）				
		（協働者）				
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		